

平成24年度

”大雪・富良野ルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成23年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 大雪・富良野ルート	報告者: ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一	報告年月日: 2013/3/31
------------------	-------------------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	北海道らしい雄大な景観を美しく見せる	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(水) 上富良野町:5月13日(日)	主催者約20名 一般約180名	A - 1	継続した取り組みを行うことが出来、継続することで地域に定着し、さらに参加者の増加や意識づくりが進んできている。見晴台公園の活用にあたり、関係者で利活用の検討を行い、上富良野町とも連携し、次年度具体的な活用を行う。 新たな取り組みとして、十勝シーニックバイウェイやガーデン街道協議会と連携し、幹線沿線にサインツリーを植樹するプロジェクトを開始した。中長期的に植樹・維持管理を行い、北海道らしい景観の創出を広く目指す。	
		★18	人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～旭川から帯広までの広域サインツリー植樹プロジェクト～	美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会)	H24.3月.6月.11月全体会議 H24.5月第1回植樹祭(4箇所) ※大雪・富良野植樹会場、西達布駐車帯	全体会議約30名 植樹祭約40名	A - 3		
	1	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(水) 上富良野町:5月13日(日)	主催者約20名 一般約180名	A - 1			
		ビューポイントを整備して大雪山・十勝岳連峰の眺めを楽しめるようにする	-	-	-	-			
	大雪山・十勝岳連峰への眺望性を確保するためのルールの整備を進める	2	見晴台公園利活用検討	上富良野町、237花俱樂部、大雪・富良野ルートサポートセンター	2月	10名			
		★18	人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～旭川から帯広までの広域サインツリー植樹プロジェクト～	美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会)	H24.3月.6月.11月全体会議 H24.5月第1回植樹祭(4箇所) ※大雪・富良野植樹会場、西達布駐車帯	全体会議約30名 植樹祭約40名	A - 3		
	景観づくり	田園景観保全のための仕組みを観光と関連を持たせながら検討する	★18	人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～旭川から帯広までの広域サインツリー植樹プロジェクト～	美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会)	H24.3月.6月.11月全体会議 H24.5月第1回植樹祭(4箇所) ※大雪・富良野植樹会場、西達布駐車帯	全体会議約30名 植樹祭約40名		A - 3
				田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う	-	-	-		
		4	情報拠点・夢民村「直売カフェMuu」を運営	西神楽 夢民村	通年				
	花人街道としての景観を整える	地域の原風景としての景観を保全するための研究を行う	-	-	-	-	-		
沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う		5	花の植栽活動	NPO法人グラウンドワーク西神楽、東川町花俱樂部、深山峠観光開発振興会、上富良野町商工会	5月～6月	主催者約10名 一般約290名			
		★18	人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～旭川から帯広までの広域サインツリー植樹プロジェクト～	美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会)	H24.3月.6月.11月全体会議 H24.5月第1回植樹祭(4箇所) ※大雪・富良野植樹会場、西達布駐車帯	全体会議約30名 植樹祭約40名	A - 3		
2		見晴台公園利活用検討	上富良野町、237花俱樂部、大雪・富良野ルートサポートセンター	2月	10名				
2		見晴台公園利活用検討	上富良野町、237花俱樂部、大雪・富良野ルートサポートセンター	2月	10名				
森林景観を保全するための活動計画の策定を行う		-	-	-	-	-			
沿道の景観阻害要因に対するの修景計画の策定を行う	-	-	-	-	-				
ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る	6	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月 (西神楽夢民村「Muu」・通年)					

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一	報告年月日:2013/3/31
-----------------	------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
地域づくり	活力ある地域づくり	地域の情報発信力を強化し、情報媒体の多彩化を図る	7	地域情報ペーパーや観光パンフレット等を配布	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月 (西神楽夢民村「Muu」・通年)	ルート内情報拠点3箇所、上川道の駅約10箇所	A - 5	行政連絡会議と連携し、空港でのパネル展を継続して実施することが出来、シーニックバイウェイや各地域の景観、ウィンターサーカスを空港利用者にPRすることが出来た。さらにウィンターサーカスは、各種メディアから注目を浴び、様々な媒体に掲載され、冬の観光活性化に繋がった。観光による地域活性化をさらに推進する。	
		地域住民参加への活動を強化する	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	1		大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(水) 上富良野町:5月13日(日)	主催者約20名 一般約180名		A - 1
			情報拠点での地域情報発信	8		西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月 (西神楽夢民村「Muu」・通年)			
			大雪・富良野ルートパネル展の実施	9		大雪・富良野ルート ルート運営行政連絡会議	6月16日～6月27日 1月26日～2月10日	2回		
			ウィンターサーカスvol.8～雪の魅力～の開催	10		ウィンターサーカス実行委員会	2月9日～10日	主催者約20名		A - 2
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	シーニックの活動に対する地域連携意識を醸成する	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	1		大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(水) 上富良野町:5月13日(日)	主催者約20名 一般約180名		A - 1
			大雪・富良野ルートパネル展の実施	9		大雪・富良野ルート ルート運営行政連絡会議	6月16日～6月27日 1月26日～2月10日	2回		
		各種キャンペーンの立案によって参加意識を高める	1		沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(水) 上富良野町:5月13日(日)	主催者約20名 一般約180名		A - 1
	地域づくり	安全な地域農産物の魅力を情報として発信する	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	11		西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	西神楽:通年 上富良野:5月～11月(週末)			
			★19 新千歳空港「北海道産直マルシェ」での特産品販売			上富良野町商工会、かみふらの十勝岳観光協会、夢民村、循環型社会立案サポートセンター(道の駅びえい、占冠村、しむかっぶ村づくり観光協会)	7月23日～7月29日			
農家体験観光を通して地域の魅力を紹介する			12		西神楽 夢民村	8月上旬～10月	一般10名			
農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり		地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める	沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン	1		大雪・富良野ルート	西神楽:4月25日(水) 上富良野町:5月13日(日)	主催者約20名 一般約180名	A - 1	
			冬季集住 高齢者サービスの検討	13		NPO法人グラウンドワーク西神楽	10月～2月			
		多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う	冬季集住 高齢者サービスの検討	13		NPO法人グラウンドワーク西神楽	10月～2月			
			★19 新千歳空港「北海道産直マルシェ」での特産品販売			上富良野町商工会、かみふらの十勝岳観光協会、夢民村、循環型社会立案サポートセンター(道の駅びえい、占冠村、しむかっぶ村づくり観光協会)	7月23日～7月29日			
地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生生物遺産の保全・保護と監視を進める	旭岳の管理	14		大雪山自然学校(NPO法人ねおす)	5月～11月				
		自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する								
		歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る								

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一	報告年月日:2013/3/31
-----------------	------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
観光振興	ユニバーサルデザインの推進	地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する	15	子供向けの自然教室を実施	大雪山自然学校(NPO法人ねおす)	通年			
			16	ウィンターサーカスと連携した雪の授業を開催	ウィンターサーカス実行委員会	上富良野:1月9日 西神楽:1月31日	上富良野:25名 西神楽:20名		
		シーニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う		-	-	-	-		
		地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う	17	ユニバーサルデザインを取り入れた情報拠点の設営・運営	循環型社会立案サポートセンター	5月～11月	-		美瑛の情報拠点にてユニバーサルデザインを実現しており、利用者にユニバーサルデザインの必要性を普及啓発している。
	田園型リラクゼーション観光の充実	田園型リラクゼーション観光を充実させる	10	ウィンターサーカスvol.8～雪の魅力～の開催	ウィンターサーカス実行委員会	2月9日～10日	主催者約20名	A - 2	
			★20	十勝平野・山麓ルート、上川町と連携した「大雪ぐるっと観光推進」検討会の開催	大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート、上川町商工会、層雲峡観光協会	11月16日、1月30日	10名	A - 4	
		もてなしのシーニックバイウェイを充実させる	21	道の駅連携スタンプラリーの実施	西神楽夢民村	11月～3月(Muu・通年)		A - 5	
	農業と連携した観光のしくみづくり	来訪者と農業生産者をつなぐしくみを検討する	11	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	西神楽:通年 上富良野:5月～11月(週末)			
		地域の農産物の新たな流通ルートを検討する	11	西神楽と上富良野の情報拠点にて、地域農産物を販売	西神楽夢民村、かみふらの十勝岳観光協会	西神楽:通年 上富良野:5月～11月(週末)			グラウンドワーク西神楽を中心として農業と都市、人をつなぐ取り組みを展開。生産者と旅行者をつなぐ情報拠点「Muu」はコミュニティビジネスとなっている。西神楽の各成功事例を他地域普及すべく、各地域と情報共有を強化する。地域の特産品開発については、昨年にひきつづき、上富良野で実施しており、今年度は「ハンバーグ」を開発した。また、ラベンダーや赤妻、じゃがいもなどのオーナー制が、継続的に行われており、地域農業と観光をつなぐ取り組みとなっている。
		情報拠点の運営	6	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月(西神楽夢民村「Muu」・通年)			
		ルートのコミュニティビジネスを興すための検討を進める	13	冬季集住 高齢者サービスの検討	NPO法人グラウンドワーク西神楽	10月～2月			
		各種オーナー性の実施	3	各種オーナー性の実施	赤妻の会、深山峠観光開発振興会、かみふらの十勝岳観光協会	通年			
	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	シーニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる	6	情報拠点の運営	西神楽夢民村、循環型社会立案サポートセンター、かみふらの十勝岳観光協会	5月～11月(西神楽夢民村「Muu」・通年)			ルート運営では、ルート活動資金の獲得のためルート法人が補助や助成の申請を積極的に行っているが、まだまだ、専任のスタッフの雇用などには至っていない。今後も、ルート活動推進を目的に、体制づくり・人づくりを進めていく。
		シーニック情報中枢機能を充実させる		-	-	-	-		

大雪・富良野ルート

A-1

TAISETSU/FURANO Scenic Byway

活動名：沿道の清掃活動ゴミゼロキャンペーン

【概要】平成17年度「集中活動月間」の活動としてはじまった「ゴミゼロキャンペーン」は、沿道の清掃活動を広域で連携して実施する活動。平成24年度で8回目の開催。毎年、4月下旬から5月30日までをキャンペーン期間として、旭川や上富良野で関係行政とも連携し、清掃活動を実施。

【日時】旭川市西神楽：4月25日（水） 上富良野町：5月13日（日）

【場所】旭川市西神楽 上富良野町 国道237号沿道

【主催】大雪・富良野ルート

【参加人数】約200人



大雪・富良野ルート

A-2

TAISETSU/FURANO Scenic Byway

活動名：ウィンターサーカスの開催

- 【概要】 第8回目となる雪のアートプロジェクト「ウィンターサーカス」を、ルート内6会場・高速道路会場1会場で開催。各会場では温かい飲食の提供を行った。また、旭川駅と札幌発着のバスツアーなどを実施した。
- 【日時】 2月9日～10日 17:00～20:00
- 【場所】 旭川市西神楽、東神楽町、美瑛町、上富良野町（2会場）、占冠村、道央道砂川SA
- 【主催】 シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート ウィンターサーカス実行委員会
- 【参加人数】 約3000人

西神楽会場（旭川市）



東神楽会場（東神楽町）



見晴台会場（上富良野町）



大雪・富良野ルート

TAISETSU/FURANO Scenic Byway

活動名：人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト
～旭川から帯広までの広域サインツリー植樹プロジェクト～

【概要】北海道観光の道しるべとなる「サインツリー」を、シーニック4ルートと北海道ガーデン街道協議会、地域が一体となって、上川～十勝間の幹線道路の沿道に植樹し、道路交通環境の向上を図るとともに、訪れる人々に地域の要所、景観の優れた箇所、並木、花壇や庭園を案内し、おもてなしを行う取り組み。第1回目の植樹となる平成24年度は、連携による植樹際を開催。また、東京大学 堀教授を迎えての勉強会等も行った。

【日時】全体会議：H24.3月、6月、11月、植樹祭（4箇所）：H24.5月

【場所】全体会議：旭川市、帯広市、植樹祭：富良野市、新得町、芽室町、中札内村

【主催】大雪・富良野ルート、十勝平野・山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道

【参加人数】全体会議約30名、植樹祭約40名



今後2年間で約200本を植樹



西達布駐車帯 植樹祭【植樹祭時 H=2.5m】



大雪・富良野ルート

TAISETSU/FURANO Scenic Byway

活動名：十勝平野・山麓ルート、上川町と連携した「大雪ぐるっと観光推進」検討会の開催

【概要】今年から実施している「大雪山ぐるっと観光推進事業」は、大雪山連峰の山麓地域が連携し、観光の推進を図る取り組み。主要な幹線道路は、総延長約350キロ、関係する自治体は14市町村にもなる壮大な連携である。今年度は、当ルートと十勝平野・山麓ルート、上川町のコアメンバーが中心となり、今後の具体的連携に向けた検討会を行っている。

【日時】11月16日、1月30日、3月12日

【場所】第1回検討会(鹿追・帯広)、第2回検討会(上川・層雲峡)、第3回検討会(上富良野)

【主催】大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、上川町商工会、層雲峡観光協会

【参加人数】委員等 10名



ルート名	氏名
大雪・富良野ルート	加藤 祐一氏(上富良野町)
	菊地 晴夫氏(美瑛町)
十勝平野山麓ルート	三井 副成氏(鹿追町)
	野村 恵子(上士幌町)
上川	鎌田康雄(上川町)
	穴戸重之(上川町層雲峡)

大雪・富良野ルート

TAISETSU/FURANO Scenic Byway

活動名：地域情報ペーパーや観光パンフレット等を配布道の駅連携スタンプラリーの実施

- 【概要】 上川中南部道の駅6駅（とうま、あさひかわ、ひがしかわ「道草館」、びえい「丘のくら」、南ふらの、自然体感しむかっぷ）と大雪・富良野ルート、ネクスコ東日本が連携し、シーニックや道の駅などのイベント情報を掲載した地域情報ペーパー（通年・毎月発行）の発行・配布及び上川中南部道の駅スタンプラリー（冬期）を実施している。
- 【日時】 地域情報ペーパー（毎月発行・通年）、スタンプラリー（11月～3月）
- 【場所】 上川中南部道の駅6駅（とうま、あさひかわ、ひがしかわ「道草館」、びえい「丘のくら」、南ふらの、自然体感しむかっぷ）と大雪・富良野ルート、ネクスコ東日本
- 【主催】 大雪・富良野ルート、上川中南部道の駅連絡協議会、旭川開発建設部、ネクスコ東日本



上川中南部道の駅スタンプラリー

2012/11/10 ▶ 2013/3/31

7つのスタンプを押して抽選でおいしいものが当たる!
(さらに高速道路の休憩施設のスタンプで「特別賞」も参加できます)

道の駅賞 「上川中南部道の駅」スタンプ6ヶ所と「道草館」のスタンプ、合計7個で参加できます。

とうま 道の駅とうま（ピアリー）6個入り [10名]	（北）ひがしかわ 道の駅 [10名]
清澄かわかみ 道の駅 [10名]	道草館 道の駅セット（お弁当×3個） [5名]
ひがしかわ 道の駅 [10名]	道の駅 [10名]
びえい 道の駅 [10名]	道の駅 [10名]
南ふらの 道の駅 [10名]	道の駅 [10名]
自然体感しむかっぷ 道の駅 [10名]	道の駅 [10名]

特別賞 さらに 高速道路（道央道）砂川SA、岩見沢SA、精厚PAの道の駅スタンプで参加できます。（スタンプ合計12ヶ所）ダブルチャンス賞として特別賞にも参加できます。

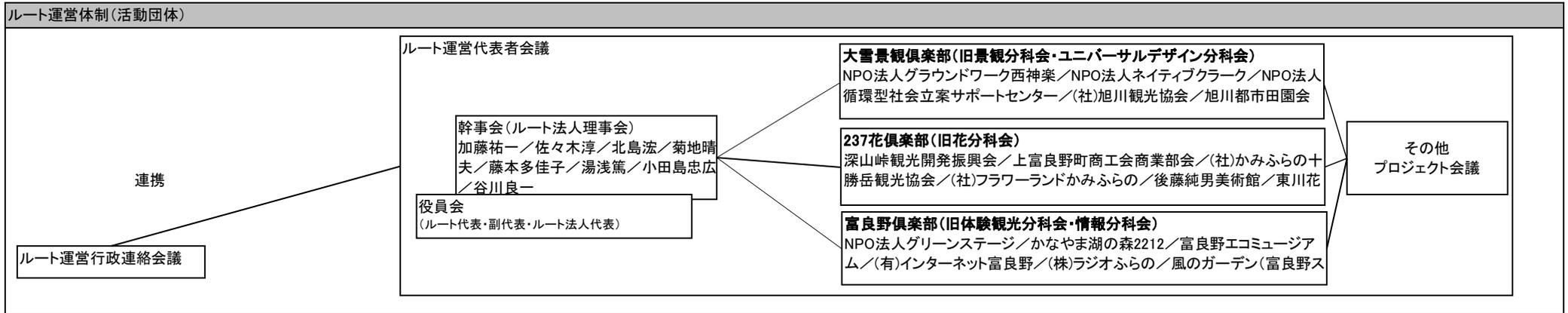
キトウシ森林公園 家族旅行村センター棟8名用1泊宿泊券 [1名]
 早稲リゾートトマム サ・タワ 1泊朝食付ペア宿泊券 [1名]
 日全四季の森 ホテルパークビルズ1泊2食付宿泊券 [2名]
 旭山動物園 年間パスポート [1名]

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一	報告年月:2013/3/31
-----------------	------------------------	----------------

活動団体

NPO法人グラウンドワーク西神楽/NPO法人ネイティブクラーク/NPO法人循環型社会立案サポートセンター/深山峠観光開発振興会/上富良野町商工会商業部会/NPO法人グリーンステージ/(社)かみふらの十勝岳観光協会/(社)フラワーランドかみふらの/かなやま湖の森2212/富良野エコミュージアム/(有)インターネット富良野/東川花倶楽部/(社)旭川観光協会/(株)ラジオふらの/旭川都市田園会議/後藤純男美術館/大雪自然学校(NPO法人ねおす)/西神楽夢民村/上野ファーム/風のガーデン(富良野スキー場) 全20団体



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議		● 5/10								● 1/23			ルートの各地区会議(倶楽部会議)の開催が出来ていないことから、情報共有が不足している。一方で、他ルートとの連携、プロジェクトごとの会議は一定回数開催している。今後は、会議の活性化を図る。
運営委員会													
倶楽部会議(地区)													
100年の木プロジェクト会議	● 4/10事務局	● 5/11コア会議 5/19植樹祭	● 6/29全体会議				● 10/12事務局	● 11/9全体会議			● 2/4コア会議	● 3/19全体会議	
大雪ぐるっと連携会議								● 11/16		● 1/30		● 3/12	
ウィンターサーカス 会議							● 10/10		● 12/18	● 1/18			

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営連絡会議 代表 神尾一昭	報告年月:2013/3/31
-----------------	-----------------------	----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営行政連絡会議		● 5/10								● 1/23			

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営行政連絡会議 代表 神尾一昭	報告年月:2013/3/31
-----------------	-------------------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	道路付属物の集約・配置替え、樹木の剪定	通年	旭川開発建設部	旭川開発建設部は、ルート内の景観に配慮した、標識の集約・小型化、設置数の改善、デザイン、色の統一を実施。今後も継続した検討と実施が必要。	道路行政として実施できる取り組み、関係機関との協働で行う取り組みなどを役割を明確にし、さらにシーニック活動を推進する。ネクスコ東日本が参加するなど、関係機関との連携を強化し、取り組みに広がりを持たせるように工夫する。また、支援の可能性を関係機関と検討・調整する。シーニックに参加していない地域団体や関係機関へは、シーニックバイウェイやルート情報などの発信を行い、ルート活動の推進も同時に行う。	
	波状丘陵地の田園景観を保全する	ゴミゼロキャンペーンへのゴミ袋や火ばさみ、ゴミ処理の支援、活動への参加	西神楽:4月25日(水) 上富良野町:5月13日(日)	旭川開発建設部・旭川運輸支局・上川総合振興局旭川建設管理部・旭川市・上富良野町	旭川開発建設部は、ゴミゼロキャンペーンへの協力として、ゴミ袋の提供や火ばさみの貸し出し、ゴミの処理を実施し、左記機関とともに清掃活動も参加した。ゴミゼロキャンペーンへの総参加人数は、200人を超える取り組みとなった。さらに広域への展開を検討し、地域と連携し取り組みを推進する。		
		100年の木プロジェクトへの参加(植樹箇所調査・検討、道路占用)(★)	通年 現地調査:10月11日～12日、11月6日	旭川開発建設部・上川総合振興局旭川建設管理部・旭川市・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・富良野市・南富良野町・占冠村	旭川開発建設部は、道路沿いの植樹箇所(西運布駐車帯)について、道路占用の許可をすとも、左記機関と今後の植樹箇所について、地域、関係自治体と協働で現地調査・検討を行い、植樹箇所を約10箇所選定した。		
	花人街道としての景観を整える	花の植栽活動への苗の提供などの支援	5月～6月	旭川開発建設部・東川町・上富良野町	旭川開発建設部、東川町、上富良野町は沿道の花植栽への協力として、花の苗などの提供、活動への参加を行った。花植栽により、良好な沿道環境を保つことができ、来訪者からも好評であった。今後は、地域との連携を強化し、継続した取り組みに向けての検討などを行う。		
活力ある地域づくり	ウィンターサーカスのランドアート制作協力等	ウィンターサーカスのランドアート制作協力等	2月9日(土)～10日(日) 17:00～20:00	旭川開発建設部・上川総合振興局・旭川市・美瑛町・東神楽町・上富良野町、占冠村	旭川開発建設部は、ウィンターサーカスへの協力として、ランドアートに使用する雪の提供や会場周辺の除雪、会場づくり(スノーキャンドル等)の支援を行った。	100年の木プロジェクトなど新規の官民連携による具体的な取り組みもはじまった。今後も、官民連携の成功事例の積み上げ、地域と協働によるルート活動・活動の推進を目指す。ウィンターサーカスについては、8回目となり少しずつブランド化も進んでおり、冬期観光の活性化の他、ア交流人口の拡大ができています。シーニックバイウェイの普及・啓発をさらに進めるとともに、各関係機関や地域がシーニックバイウェイの成果を実感・共有できるように、具体的な連携・取り組みを進める。	
		ウィンターサーカスと連携した雪の授業への協力	上富良野:1月9日 西神楽:1月31日	旭川開発建設部・上川総合振興局・旭川市・上富良野町	旭川開発建設部は、雪の授業として取り組みへの参加等を行うことでスムーズに開催できた。		
	大雪・富良野ルートパネル展の実施	大雪・富良野ルートパネル展の実施	6月16日～7月16日 1月26日～2月10日	旭川開発建設部	旭川開発建設部は、旭川空港(6月16日～6月27日、1月26日～2月10日)、JR旭川駅(6/29～7/16、2/2～2/10)で大雪・富良野ルートパネル展を実施し、たくさんの方にシーニックバイウェイの風景や取り組みをPRできた。		
		ウィンターサーカスのパネル巡回展を実施(自治体間の協働)(★)	1月25日～2月10日	旭川開発建設部・上川総合振興局旭川建設管理部・旭川市・東川町・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・富良野市・南富良野町・占冠村	旭川開発建設部は、左記機関とウィンターサーカスのPRパネル展を旭川空港、JR旭川駅、道の駅あさひかわ、道の駅ひがしかわ道草館、道の駅びえい丘のくら、道の駅南ふらの、占冠村物産館、フラノ・マルシェ、旭川開発建設部、各自治体庁舎等で開催し、多くの方にウィンターサーカスをPRできた。なお、今までは、旭川開発建設部で設営・撤去・移動・開催状況確認を行っていたところを、今年度からは、パネル展を開催する隣接市町村同士が連携し、設営・撤去・移動を自ら行ってうえ、開催状況確認も各自で行った。地域行政間のシーニックバイウェイによる協働について一歩前進がみられた。		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営行政連絡会議 代表 神尾一昭	報告年月:2013/3/31
-----------------	-------------------------	----------------

地域づくり	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
地域づくり	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	ウィンターサーカス開催情報のHP及び広報誌への掲載	1月下旬～2月10日	旭川開発建設部・上川総合振興局旭川建設管理部・旭川市・東川町・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・富良野市・南富良野町・占冠村	旭川開発建設部は、左記機関と調整し、ウィンターサーカス開催情報を各地方自治体HPや広報誌等に掲載することができ、多くの方にウィンターサーカスをPRできた。		
		100年の木プロジェクトへ植樹祭の開催(★)	5月19日	旭川開発建設部・上川総合振興局・富良野市	旭川開発建設部は、左記機関と調整し、100年の木プロジェクトの初めての植樹を行うにあたり、植樹祭を開催した。植樹祭には、富良野市長や旭川開発建設部長、上川総合振興局産業振興部長(局長代理)が参加した。さらに、植樹祭に参加する地域住民の募集と調整を富良野市が行った。		
	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	ウィンターサーカスへのプロジェクター貸し出しなどの支援	2月9日(土)～10日(日) 17:00～20:00	旭川開発建設部・上川総合振興局・旭川市・美瑛町・上富良野町	旭川開発建設部は、雪のランドアートに投影するために使用するプロジェクター等の貸し出しを行った。プロジェクターの貸し出しや左記機関のイベントへの参加など、できる範囲の支援を行うことで連携体制が強化された。		
	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	—	—	—	—		
	ユニバーサルデザインの推進	—	—	—	—		
	田園型リラクゼーション観光の充実	—	—	—	—		
観光	農業と連携した観光のしくみづくり	—	—	—	—		
	シーニックランドオペレーション機能の充実	地域情報ペーパーの発行・配布	毎月	上川中南部道の駅連携会議、旭川開発建設部	旭川開発建設部は、大雪・富良野ルートのイベント情報などをPRLし、誘致を図るために上川中南部道の駅連携会議と連携して地域情報ペーパーを発行・配布した。配布先は、道の駅及び情報拠点等。道の駅関係者からも大変好評であった。		
		ルートHPへのリンクを実施	通年	旭川開発建設部・上川総合振興局旭川建設管理部・旭川市・富良野市・東神楽町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村	左記機関は、ルートのホームページへのリンクを、各々のホームページに掲載。ルートのホームページPRに協力した。		

※表中“★”は、H24新規に実施した活動

5. 平成23年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一	報告年月:2013/3/31
-----------------	------------------------	----------------

平成23年度活動報告への助言	平成24年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド形成をとしては、冬期には継続的にウィンターサーカスを開催し、新たな冬の観光ブランドとして育成している。ウィンターサーカスにおいては、シーニック・ベストプロジェクト「審査員特別賞」にもなった地域の小学生を対象とした雪のワークショップも継続的に取り組んでおり、具体的な取り組みを通して、児童にシーニックバイウェイの理解・普及を進めている。また、今年度から、100年の木プロジェクトを推進しており、北海道らしい景観保全、景観づくりを通じた地域ブランド化も進めている。100年の木プロジェクトでは、十勝シーニックバイウェイ・ガーデン街道協議会とも連携し、広域ブランドづくりに寄与している。さらに今年度から、大雪山を中心とした広域連携の検討会も実施しており、今後具体的な広域観光ブランドの創出を目指す。 ・人材については、ウィンターサーカスでのネクスコ東日本や星野リゾートマムなど民間企業との連携、スタンプラリーなどによる道の駅との連携も進んでおり、シーニックバイウェイを通して、人材ネットワークの強化が進んでいる。シーニックのさらなる展開・取り組みの拡大を目指す。 ・今年度は、新千歳空港で地域特産品を活用したイベント「北海道産直マルシェ」を実施することで、地域特産品とともにルートや地域観光をPRすることが出来た。 ・他地域との交流も、支笏洞爺ニセコルートの他、十勝シーニックバイウェイ、上川地域とも進んでおり、今後、さらなる交流・情報共有を目指すとともに、ルート内の活動強化も目指す。 	

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:ルート運営行政連絡会議 代表 神尾一昭	報告年月:2013/3/31
-----------------	-------------------------	----------------

平成23年度活動報告への助言	平成24年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートPRとしては、旭川空港やJR旭川駅、ルート内道の駅、公共施設などで、ルート情報やウィンターサーカスのパネル展を年2回実施している。 ・地域情報ペーパーとして、シーニック及び道の駅の毎月イベント情報や道路の工事情報を掲載したニュースレターを発行している。道の駅等で配布し、道の駅・シーニック拠点(情報拠点)を結んだ周遊型観光を推進するとともに、シーニックバイウェイの普及啓発を行っている。 ・新千歳空港で開催されたイベントでは、参加者にシーニックバイウェイやルートの紹介を行い、シーニックの普及啓発を行った。 ・今年度から行政連絡会議にネクスコ東日本が参加し、幅広い機関からの支援を目指す。さらに、上川総合振興局等を含め、ルート運営行政連絡会議のさらなる活性化を次年度の目標として掲げ、活動を推進する。 ・ルートでは、十勝シーニックバイウェイや上川方面との連携が進んでいる。行政連絡会議としても、他地域との連携を推進する。 ・官民連携の成功事例については、他地域の成功事例を収集しつつ、ルート内の成功事例も関係機関と共有し、本当の意味での官民連携のシーニックを目指す。 	